

平成30年度 第1回 日野警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年06月20日 午後03時00分～午後05時00分

開催場所 日野警察署 3階講堂
出席者 協議会委員 7名
署長ほか 3名

内容

会議に先立ち、生活安全課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 管内治安情勢等について
 - (1) 今年5月末の「刑法犯の認知件数」、「特殊詐欺・侵入窃盗等の指定重点犯罪発生状況」、「交通事故発生状況」、「少年事件取扱件数」、「110番入電状況」、「警備実施状況」等について説明した。
 - (2) 特異検挙事例として、強制わいせつ被疑事件の被疑者を検挙した事例、詐欺(特殊詐欺)被疑事件の被疑者を検挙した事例、窃盗被疑事件の被疑者を検挙した事例、覚せい剤取締法違反被疑事件の被疑者の検挙事例、危険運転致死傷罪の被疑者を検挙した事例、児童買春被疑事件の被疑者の検挙事例等について説明した。
- 2 取締り活動ガイドラインについて
取締り活動ガイドラインの導入の経緯、趣旨を説明するとともに、日野警察署管内の重点路線、重点地域、取締り状況等について説明した。
- 3 前回会議において協議会から出された意見要望等の取組結果について
(道路交通環境の整備による安全な交通社会の実現)
以下の取組結果について説明した。
 - (1) JR日野駅周辺に、段差の少ない歩道や高齢者等感応信号を設置する等、交通弱者に配慮した道路交通環境の整備を実施した。
 - (2) 歩行者用信号の時間延長、道路拡幅に伴う歩行者動線に配慮した交差点改良を実施した。
 - (3) 自転車走行空間の整備をするとともに、日野市に働きかけて自転車通行に関する注意看板を設置した。
 - (4) 「ゾーン30」の導入について説明した。
 - (5) 高齢者や学生に対する交通安全教室を実施した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
「特殊詐欺被害防止対策」について
 - (1) 犯人からの電話音声を委員に聞かせた後、手口を説明した。
 - (2) 日野市内では今年に入り、オレオレ詐欺等の特殊詐欺被害が激増している。日野警察署ではあらゆる機会を通じて、広報啓発活動や高齢者に対して面接や電話での注意喚起を実施しているが依然として被害が絶えない、等と説明し、被害防止のための効果的な方策等について意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 効果的な対策の継続
現在、日野警察署で推進している自動通話録音機の設置活動や留守番機能の設定対策を今後も継続するとともに、金融機関の窓口対策、コンビニエンスストア対策を更に強化していただきたい。
 - (2) 地域の安全・安心の力(地域力)を高める対策の推進
特殊詐欺被害防止キャンペーンの実施、チラシの配布やポスターの掲示、行政と協力した広報啓発活動等を推進していただきたい。

[その他の意見要望等]

「ゾーン30」の導入地区内でスピードを出している車があるので、重点的にパトロールしていただきたい、旨の要望があった。

その他

次回開催は、平成30年9月下旬実施予定。

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第4回 日野警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年03月22日 午後03時00分～午後05時00分

開催場所 日野警察署3階講堂
出席者 協議会委員 5名
署長ほか 3名

内容

[業務説明]

1 管内治安情勢等について

- (1) 昨年1年間及び今年2月末の「刑法犯の認知件数」、「特殊詐欺・侵入窃盗等の指定重点犯罪発生状況」、「交通事故発生状況」、「少年事件取扱件数」、「110番入電状況」、「警備実施状況」等について説明した。
- (2) 特殊詐欺被害の現況と日野警察署で行っている被害防止対策について説明した。
- (3) 特異検挙事例として、器物損壊被疑事件の被疑者を逮捕した事例、詐欺（特殊詐欺）被疑事件の被疑者を逮捕した事例、大麻取締法違反被疑事件被疑者の検挙事例、児童ポルノ法違反被疑事件の被疑者を逮捕した事例等について説明した。

2 前回会議において協議会から出された意見要望等の取組結果について（不審外国人等の通報依頼）

以下の取組結果について説明した。

- (1) 不法滞在や不法就労防止のため、東京都が発行している冊子や法務省入国管理局が発行しているチラシを活用し、外国人を雇用する事業主に対して広報啓発活動を実施した。
- (2) 気軽に通報できる警察署の窓口については、「ふれあいポリス」の防犯講話や「ふれあい連絡協議会」等に警備課長が積極的に同席して、情報提供を求めた。
- (3) テロ対策のPR活動として、3月15日に日野パートナーシップを活用し、JRの豊田車両センターにおいてNBCテロ合同対処訓練を実施し、マスコミにも大きく取り上げられた。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

1 署長から協議会への説明内容

「道路交通環境の整備による安全な交通社会の実現」について

日野警察署交通課では、地域住民や関係行政機関と一体となって道路交通環境を整備することにより、高齢者や障害者等の通行の安全確保、通学路における児童の通行の安全の確保を図っている。等と説明し、更なる取組のあり方等について意見等を求めた。

2 警察署協議会からの意見要望等

- (1) 歩道と車道の段差の解消について、視覚障害者の視点に配慮しながら、各道路管理者の計画に基づいて改善を働き掛けていただきたい。
- (2) カーナビゲーション等への情報提供について、関係機関と連携して積極的に情報を提供していただきたい。

[その他の意見要望等]

委員から、

- 1 交通ルールを守らない高齢者に対する指導、教育を強化していただきたい。
- 2 自転車利用者に対するマナーを指導していただきたい。
- 3 日野市が設置する自転車通行に関する注意看板を見易くするよう、市に働き掛けていただきたい。
旨の要望があった。

その他 次回開催は、平成30年6月下旬実施予定。

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第3回 日野警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年12月20日 午後03時00分～午後05時00分

開催場所 日野警察署 3階講堂
出席者 協議会委員 7名
署長ほか 4名

内容

[業務説明]

平成29年11月末の管内治安情勢等について

- 1 前回協議会以降の「特殊詐欺・侵入盗等の指定重点犯罪発生状況。交通事故発生状況。少年事件取扱い。110番入電状況。警備実施状況」等について説明した。
- 2 特殊詐欺被害防止対策について説明した。
- 3 特異検挙事例等について説明した。

協議会からの意見要望等の取組結果について（防犯カメラの設置促進）

- 1 自治会に対して、防犯講話を通じて街頭防犯カメラの設置効果を説明し、設置要請をした。
- 2 日野市のイベントや防犯キャンペーンの際に、防犯カメラの設置効果を説明して個人宅の設置を要請した。
- 3 日野市議会議長に対して、当署署長及び生活安全課長が防犯カメラ設置に関する補助金の予算確保を要請した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
「不審外国人等の通報依頼」について
今日日野市内においても外国人人口が増加し、その多くは留学、技術実習等の正規ビザを取得している善良な人々である。
しかしながら、少数とはいえ観光ビザ等で本邦に入国し、不法就労したり、あるいは違法行為に手を染める者も散見される。
不法滞在者は、アパートを契約して居住することが困難なことから、一部屋に複数名居住する、大勢の外国人の出入りがある等の不審点があるので、これら不審外国人を発見した際の通報依頼についてご意見を伺いたい。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
善意で来日している方が多い中で、不法就労や不法滞在者が違法であるという意識があまりない方がいる。
一方で気になることは、最初から犯罪目的に入国した者が、コミュニティを作ってテロといった大きな犯罪に結びついていくことが懸念される。
不動産業者、行政、大学、日本語学校、自治会、外国人を雇用する事業主等に対して、分かりやすいパンフレット等を作成して周知活動をしていただきたい。
住民が不審な者を発見しても、110番通報はしづらい。身近な「ふれあいポリス」や各交番に連絡する等、気軽に警察署に通報できる窓口を作っていただきたい。
テロ対策については継続するとともに、併せてPR活動も行っていただきたい。

[その他の意見要望等]

ガードレールの設置要望

11月23日、管内で乗用車が車道から歩道の街路樹に突っ込む事故があった。大変危険なので、ガードレールを設置していただきたい。

学生に対する交通安全教育の実施要望

先日、神奈川県でスマートフォンを操作しながら自転車を運転していた女子大生が、歩行者にぶつかり死亡させた事故が発生した。
このような痛ましい事故が繰り返されないように、学生に対してこの事故を周知させ、自転車の乗り方について教育していただきたい。

その他

次回開催は、平成30年3月実施予定

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第2回 日野警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年09月20日 午後03時00分～午後05時00分

開催場所 日野警察署 3階講堂
出席者 協議会委員 7名
署長ほか 4名

内容

地域課長、生活安全課長の出席について、各委員から了承を得た。

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

「地域住民に寄り添った警察活動の推進」について

- 1 前回答申の内容について
「ふれあい連絡協議会」の開催や「ふれあいポリス」の周知活動、地域住民に対する挨拶や声掛けを励行して、住民に寄り添った警察活動をしていただきたい。
- 2 取組結果について
 - (1) 「ふれあい連絡協議会」「ふれあいポリス」の継続的な取組
 - ア「ふれあい連絡協議会」の活発な開催
答申を受けた後、「ふれあい連絡協議会」を6回、本年累計24回開催した。
 - イ「ふれあいポリス」の活動
 - (ア) 老人クラブの研修会や小学校の保護者会で防犯講話を実施した。
 - (イ) 防犯協会や市役所、企業と連携して「犯罪被害防止キャンペーン」を実施した。
 - (ウ) 自治会と連携して合同パトロールを実施した。
 - (エ) 地域の行事(ひのよさこい祭り)に参加して、各種被害防止に向けた広報啓発活動を実施した。
 - (2) 「ふれあいポリス」の周知活動
 - ア日野警察署のホームページ、日野警察署が作成しているミニ広報紙「交番新聞」に「ふれあいポリス」の紹介記事を掲載した。
 - イ日野市役所発行「広報ひの」に「ふれあいポリス」の紹介記事を掲載した。
 - ウ「ふれあいポリス」の顔写真入りの名刺を作成し、各種会合やキャンペーンで活用した。
 - (3) 「あいさつ、声掛け」の推進
 - ア早朝の時間帯に交番前の通行者に対して、積極的にあいさつや声掛けを実施した。
 - イ登下校児童に対して、見守り、あいさつ、声掛けを実施した。

[業務報告]

平成29年8月末の管内治安情勢について

- 1 前回協議会以降の「侵入窃盗・ひったくり等の指定重点犯罪発生状況」、「交通事故発生状況」、「少年事件取扱い」、「110番入電状況」、「警備実施状況」等について報告した。
- 2 特異検挙事例として、大麻取締法違反被疑者の逮捕事例、強制わいせつ事件被疑者の逮捕事例、児童買春・児童ポルノ法違反被疑者の逮捕事例等について報告した。

[諮問]

防犯カメラの設置促進について

[答申]

各種警察活動を通じて防犯カメラ設置の必要性、効果の周知活動を継続するとともに、日野市の広報紙を活用した広報啓発活動、日野市に対する設置促進の働きかけを実施し、防犯カメラ設置促進に努め、日野市の「安全・安心」を実現していただきたい。

[意見・要望等]

- 1 個人宅では、ダミーのカメラを取り付けている家もあるが、それでは意味がないことを周知させてほしい。
- 2 犯罪が多く発生する場所等、防犯カメラの設置が必要な場所の情報を市に提供し、設置を促してほしい。
- 3 私達地域住民からも防犯カメラ設置に向け、日野市に要望していきたい。
- 4 空き巣被害に遭われた家に行き、防犯カメラの設置を勧めてみてはいかがか。

その他

次回開催は、平成29年12月実施予定。

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第1回 日野警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年06月21日 午後02時00分～午後05時00分

開催場所 日野警察署 3階講堂
出席者 協議会委員 7名
署長ほか 2名

内容

会議に先立ち会長1名、副会長2名を互選した。

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

「春の全国交通安全運動」の効果的推進について

- 1 前回答申内容について
交通安全教育や広報・啓発活動等の従来の効果的な施策の継続、効果的な指導取り、交通環境整備、アイコンタクト運動の推進を図っていただきたい。
- 2 取組結果
 - (1) 安全教育の実施
 - ア 新入学児童や保育園児に対し横断訓練を実施
 - イ 日野警察署管内に所在する大学や企業で交通安全教育を実施
 - ウ ドライビングスクールで自転車実技教室を実施
 - (2) 広報・啓発活動
 - ア 飲酒運転撲滅キャンペーンを実施
 - イ 自転車交通事故防止キャンペーンの実施
 - ウ 二輪車の運転手に注意を促す「二輪車ストップ作戦」を実施
 - エ 子供の交通事故防止キャンペーンを実施
 - オ 「交通事故ゼロを目指す日」キャンペーンを実施
 - カ 高齢者宅に戸別訪問による注意喚起の実施
 - (3) 交通指導・取締り
管内全域において交通指導・取締りを実施
 - (4) 道路交通環境整備
行政や個人宅に働きかけて、街路樹や道路にはみ出した樹木の剪定等を実施
 - (5) アイコンタクト運動の推進
歌手を招き、交通安全協会とともにキャンペーンを実施

[業務報告]

平成29年5月末の管内治安情勢について

前回会議以降の指定重点犯罪の発生状況と検挙事例、交通事故発生状況、少年事件取扱い、

- 1 10番入電状況について報告した。
- 特殊詐欺の現況について
駐車監視員活動ガイドラインの見直しについて
署長が、ガイドラインの導入の経緯、趣旨を説明するとともに日野警察署管内の従来の重点路線や重点地域、新たに追加する重点路線と重点地域を説明した。

[諮問]

「地域住民に寄り添った警察活動の推進」について

[答申]

- 1 「ふれあい連絡協議会」「ふれあいポリス」の継続的な取組み
 - (1) ふれあい連絡協議会の活発な開催
 - (2) 「ふれあいポリス」の周知活動
 - ア チラシ等による「ふれあいポリス」の周知
 - イ 広報紙・ケーブルテレビによる広報活動
 - ウ 地域のイベント、祭りでのPR活動
- 2 「あいさつ、声かけ」の推進
 - (1) パトロール時や交番在所時に、地域住民に対する「あいさつ」や声かけの励行
 - (2) 子供たちに対する積極的な声かけ
 以上を推進し、地域住民に寄り添った警察活動をしていただきたい。

[意見・要望等]

- 1 日野市内、平山地区や百草地区、三沢地区等は、急な坂道があり、自転車が猛スピードで下ってくるので危険である。自転車に対する指導取締りの強化をお願いしたい。
- 2 川崎・北野街道の道路幅員が狭く、自転車が車道を通行する際に危険である。幅員を拡張するよう行政に働きかけていただきたい。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成28年度 第4回 日野警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年03月23日 午後03時00分～午後05時00分

開催場所 日野警察署 3階講堂
出席者 協議会委員 9名
署長ほか 2名

内容

【前回の答申等に対する警察署の取組結果】

- 特殊詐欺被害防止対策について
- 1 前回答申内容について
広報啓発活動、被害対象者への直接アプローチ、自動録音機設置等のガード対策、金融機関に対する協力依頼を推進して、特殊詐欺被害防止を図っていただきたい。
 - 2 取組結果について
 - (1) 広報啓発活動
 - ア メディア（ケーブルテレビ）を活用し被害防止対策について広報した。
 - イ 広報誌（日野市発行「広報ひの」）に注意喚起文を掲載した。
 - ウ 新聞折り込み（読売新聞）により防犯チラシを配布した。
 - エ 被害防止キャンペーンを実施した。（駅、金融機関、スーパー周辺）
 - オ 高齢者の家族に対して、引き下ろし限度額の引き下げを働きかけた。
 - (2) 被害対象者（高齢者）への直接アプローチ
 - ア 高齢者宅への訪問による注意喚起を実施した。
 - イ 架電による注意喚起を実施した。
 - (3) 高齢者のガード対策
 - ア 日野市に対して自動録音機設置の予算化を働きかけた。
 - イ 電話機に取り付ける注意喚起シールの配布を実施した。
 - ウ キーワードチェックリストの作成と配布を実施した。
 - (4) 金融機関に対する協力依頼
 - ア 積極的なホットライン通報の依頼を実施した。
 - イ 限度額引き下げキャンペーンを実施した。

【業務報告】

- 平成29年2月末の管内治安情勢等について
- 1 前回協議会以降の「侵入窃盗・ひったくり等の指定重点犯罪発生状況」、「交通事故発生状況」、「少年事件取扱い」、「110番入電状況」、「警備実施状況」等について報告した。
 - 2 特異検挙事例として、昨年発生した強要未遂被疑者を12月に通常逮捕した事例、本年1月に発生したコンビニ強盗被疑者を緊急逮捕した事例等について報告した。

【諮問】

「春の全国交通安全運動」の効果的推進について

【答申】

- 1 従来の効果的な対策の継続
 - (1) 交通安全教育の実施
 - (2) 広報・啓発活動の推進
 - 2 効果的な指導・取締り
 - (1) 事故の多い時間帯・場所・対象を加味した指導・取締りの実施
 - (2) 交通安全運動期間中は、制服姿で「見せる取締り」の推進
 - 3 交通環境整備
 - (1) 樹木等で見通しがきかない場所の改善
 - (2) 自転車レーン等の色分け
 - (3) 一時停止線等の道路標示が薄くなった場所の補修
 - 4 アイコンタクト運動の推進
- 以上をふまえて「春の全国交通安全運動」を効果的に推進していただきたい。

【意見・要望等】

要望： 学生（中学生～大学生）の自転車の乗り方が悪く、交通ルールを守らない者が多くいる。学生に対する交通安全教育をしていただきたい。

回答： 日野警察では、管内の学校に対して継続的に交通安全教育を実施している。今後も継続して実施する。

要望： 通勤時間帯に住宅街の道路を抜け道に使うスピードを出す車両がいて危ない。裏通りも取締りをしてほしい。

回答： 事故の起きる時間帯、場所を考慮し、指導・取締りを実施する。

意見： 自転車のシミュレーションを使った指導は、大変効果的だと思う。

回答： 今後もシミュレーションを積極的に活用した指導をする。

意見： 車道に自転車通行のマークを表示し、自転車は車道を通行することを推進するのは良いが、小さな子供はかえって危ないのではないか。

回答： 13歳未満の子供や、70歳以上の高齢者、体の不自由な方は、歩道を通行することができる。

要望： 警察官が制服姿で交差点に立つことは、交通事故や違反の抑止につながる。交通安全運動期間中に、制服姿で交差点に立ち、「見せる取締り」を実施してほしい。

回答： 交通事故が発生する場所を考慮して、実施する。

その他

次回開催 平成29年6月実施予定

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成28年度 第3回 日野警察署協議会 議事概要

開催日時 平成28年12月16日 午後03時00分～午後05時00分

開催場所 日野警察署 3階講堂
出席者 協議会委員 9名
署長ほか 2名

内容

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

- 子供と高齢者の交通事故防止について
- 1 前回答申内容について
従来の有効な施策を継続するとともに、子供と高齢者の特性に応じた啓発活動の実施、高齢者の運転免許証の返納促進、行政との連携強化、歩車分離式信号機等の導入を推進していただきたい。
 - 2 取組結果について
 - (1) 従来の有効な施策の継続
 - ア 交通安全教育の実施
管内の保育園、小学校、大学、企業において安全教育を実施した。
 - イ 警察官の街頭活動
主要交差点において、警察官による整理誘導、指導取締りを実施した。
 - ウ 命の大切さを訴える活動
11月10日、日野市役所において、飲酒ひき逃げ事件の遺族を講師に命の大切さを訴える活動を実施した。
 - (2) 子供と高齢者の特性に応じた啓発活動の実施
 - ア 道路交通環境総点検の実施
道路管理者、PTA、地域住民などと協力して、安全点検を行った。
 - イ 中学校2校でスタントマンによる模擬交通事故見学を行った。
 - ウ 「アイコンタクト運動」を推進するため、チラシの新聞折り込みや交通安全教室等で情報発信を行った。
 - (3) 高齢者の運転免許証の返納促進
交通事故の当事者となった高齢者に対し、免許返納を促すとともに、各種イベントで広報啓発を行った。
 - (4) 行政（日野市）との連携
日野市の広報紙やホームページを活用し交通安全のための情報発信を行った。
 - (5) 歩車分離式信号機等の導入
7交差点において完全歩車分離信号を導入している。

[業務報告]

- 平成28年11月末現在の管内治安情勢等について
- 1 前回警察署協議会以降の「侵入窃盗・ひったくり等の指定重点犯罪発生状況」「交通事故発生状況」「110番入電状況」「警備実施状況」等について報告した。
 - 2 特異検挙事例として、本年8月に発生した強制わいせつ被疑者を11月に通常逮捕した事例、本年9月に発生した侵入窃盗被疑者を11月に通常逮捕した事例について報告した。

[諮問]

特殊詐欺被害防止対策

[答申]

効果的な広報啓発活動の実施、高齢者宅への訪問や電話による注意喚起の実施、自動録音機の設置促進、金融機関との連携強化を推進し、特殊詐欺被害防止を図っていただきたい。

[意見・要望等]

要望：全国交通安全運動の際に、日野警察では「100交差点配置」を行っているが、有効な施策なので続けてほしい。

回答：今後も継続する。

意見：高齢者宅の電話機に自動録音機を取り付けることは、非常に有効な手段だと思う。

回答：警察署にある自動録音機の数には限りがあり、被害に遭う危険性が高い高齢者宅に優先して取り付けている。今後も、行政と連携して設置を促進する。

意見：警察官が高齢者宅を訪問し、直接注意喚起してほしい。

回答：交番の警察官が、巡回連絡の際に注意喚起している。また、被害防止アドバイザーの女性2名が高齢者宅を訪問して注意喚起しており、今後も続ける。

意見：詐欺被害に遭ってしまう心理状態を知るために、心理学の専門家による講演を行ったらどうか。

回答：意見を参考に検討する。

その他 次回開催 平成29年3月実施予定

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成28年度 第2回 日野警察署協議会 議事概要

開催日時 平成28年09月16日 午後03時00分～午後05時00分

開催場所 日野警察署 3階講堂
出席者 協議会委員 8名
署長ほか 2名

内容

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

夏季における子供と女性に対する犯罪の被害防止対策について

1 答申内容

学校に対する注意喚起や防犯教室の実施、自主防犯組織と連携した地域ぐるみの活動、広報紙等を活用した啓発活動、犯罪の起きにくい環境づくり等を推進し、子供と女性に対する犯罪の被害防止に努めていきたい。

2 取組結果

(1)学校における対策

ア 小・中学校対策

- ・「社会を明るくする運動」会議において資料等を活用し注意喚起を図った。
- ・日野市立小・中学校生活指導主任研修会の席上で、注意喚起を図った。

イ 高校・大学対策

- ・管内の高校において、被害防止教室を開催した。
- ・管内の大学において、女子学生を対象とした「被害防止教室」を開催した。

ウ 継続的な防犯教室の実施

夏休み中の被害防止対策として、日野市内の小・中学校に対して「被害防止教室」や防犯講話、スクールサポーターによる注意喚起を継続して実施した。

(2)地域ぐるみの活動

ア 犯罪の起きにくい環境づくり

- ・日野市に対し、街頭防犯カメラの設置促進、街頭照明増設等を働きかけた。

イ 自主防犯組織との連携

- ・日野防犯協会、母の会、各自治会ボランティア、大学ボランティアと協働した見守り活動、各種キャンペーンを継続的に実施した。

ウ 注意喚起・広報啓発

- ・日野市広報紙「広報ひの」や「交番新聞」、「駐在所だより」に注意喚起文を掲載した。
- ・コンビニエンスストアに対して、女性客への注意喚起を依頼した。

[業務報告]

平成28年8月末の管内治安情勢等について

- 1 前回協議会以降の「侵入窃盗・ひったくり等の指定重点犯罪発生状況」、「交通事故発生状況」、「少年事件取扱い」、「110番入電状況」、「警備実施状況」等について報告した。
- 2 主な検挙事例として、警戒中の捜査員による強制わいせつ未遂被疑者の検挙事例、振り込め詐欺犯人(受け手)の検挙事例について報告した。

[諮問]

子どもと高齢者の交通事故防止対策

[答申]

従来の有効な施策の継続と子供と高齢者の特性に応じた啓発活動の実施、高齢者の運転免許証の自主返納の促進、行政との連携等を推進し、子供と高齢者の交通事故防止に努めていきたい。

[意見・要望等]

意見： 日野市内には歩車分離交差点が7カ所あると聞いたが、巻き込み事故防止に大変有効なので、もっと増やして欲しい。

回答： 歩車分離にすると、車両を抑制することとなり、交通量の多い道路においては渋滞問題が発生する。交通事故実態や交通量を踏まえて検討する。

意見： 高齢者に対して、犯罪白書や警察白書の具体的な数字を示して高齢者が事故の被害者にも加害者にもなることを自覚させてほしい。

回答： 意見を参考にして、高齢者の安全教育をする。

意見： 学校でスタントマンを使って事故の再現を見せているようだが、小学生にも見せたら良いと思う。また、ドライバーにも子供の特性について教えて欲しい。

回答： スケアード・ストレイトによる交通安全教室について、小学生に事故の再現を見せると恐怖体験がトラウマとなってしまうので、今後も中学生以上を対象に計画していく。また、子供の特性については、講習会や研修会で周知させる。

意見： 自宅近くの駐在さんが、毎朝交通整理をしながら通学する子供たちに声を掛けてくれている。大変良いことだと思う。

回答： 今後も継続して活動を続ける。

意見： 第九方面警察署協議会の代表者会議で「アイコンタクト運動」が非常に効果的だと聞いた。日野警察署でも実施してはどうか。

回答： アイコンタクト運動は、現在、警視庁を挙げて推進しているところであり、当署も推進している。

その他

次回開催 平成28年12月実施予定

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。